

## 再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課: 道路局 環境安全・防災課

担当課長名: 水野 宏治

事業名	空港・港湾等アクセス 一般県道 水島港唐船線	事業区分	地方道	事業主体	岡山県
起終点	自: 岡山県倉敷市玉島勇崎 至: 岡山県浅口市金光町大谷			延長	1.8km
事業概要 一般県道水島港唐船線は、地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部である一般国道2号玉島・笠岡道路に西向きに接続し、国際拠点港湾の水島港と、井笠圏域及び福山地域との物流ネットワークの形成、並びに、一般国道2号唐船交差点を中心とした周辺道路の交通混雑の軽減を図ることを目的として倉敷市玉島勇崎～浅口市金光町大谷までの延長1.8kmを整備するものである。					
H18年度事業化		H12年度 都市計画決定		R5年度用地着手	
R6度工事着手					
全体事業費	約58億円	事業進捗率	約14%	供用済延長	km
計画交通量	13,300台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)
	2.0		36/50 億円		101/101 億円
	3.3 [2%]	7.3 %	(事業費: 35/49 億円) (維持管理費: 0.61/0.61 億円) (更新費: -/- 億円)		(走行時間短縮便益: 86/86 億円) (走行経費減少便益: 13/13 億円) (交通事故減少便益: 1.6/1.6 億円)
	4.4 [1%]				
	(残事業)	(残事業)			
2.8		感度分析 (事業全体)		感度分析 (残事業)	
4.4 [2%]	10.4 %	交通量	B/C=1.8~2.2 (±10%)	交通量	B/C=2.6~3.1 (±10%)
5.8 [1%]		事業費	B/C=1.9~2.2 (±10%)	事業費	B/C=2.6~3.1 (±10%)
		事業期間	B/C=1.9~2.1 (±20%)	事業期間	B/C=2.6~3.0 (±20%)
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 【改善見込み(旅行速度: 12.8km/h⇒45.0km/h)】 ②物流効率化の支援 ・笠岡港港町地区工業団地から水島港(国際拠点港湾、国際バルク戦略港湾)へのアクセスが向上 【笠岡港港町地区工業団地～水島港: 52分⇒33分】 ③国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路「倉敷福山道路」へ水玉JCT(仮称)により接続 ④個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクトを支援する(浅口市工業団地造成整備事業) ⑤災害への備え ・岡山県地域防災計画における第3次緊急輸送道路として位置付けあり。 ・国道429号(第2次緊急)の代替路線を形成。代替区間(倉敷市連島町西之浦～倉敷市玉島阿賀崎) ⑥他のプロジェクトとの関係 ・関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり。 【一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)事業】					
関係する地方公共団体等の意見 倉敷市及び浅口市から整備要望を受けている。					
事業評価監視委員会の意見 県の評価は妥当である					

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等  
変化なし

事業の進捗状況、残事業の内容等  
用地進捗率約14%、事業進捗率約14%

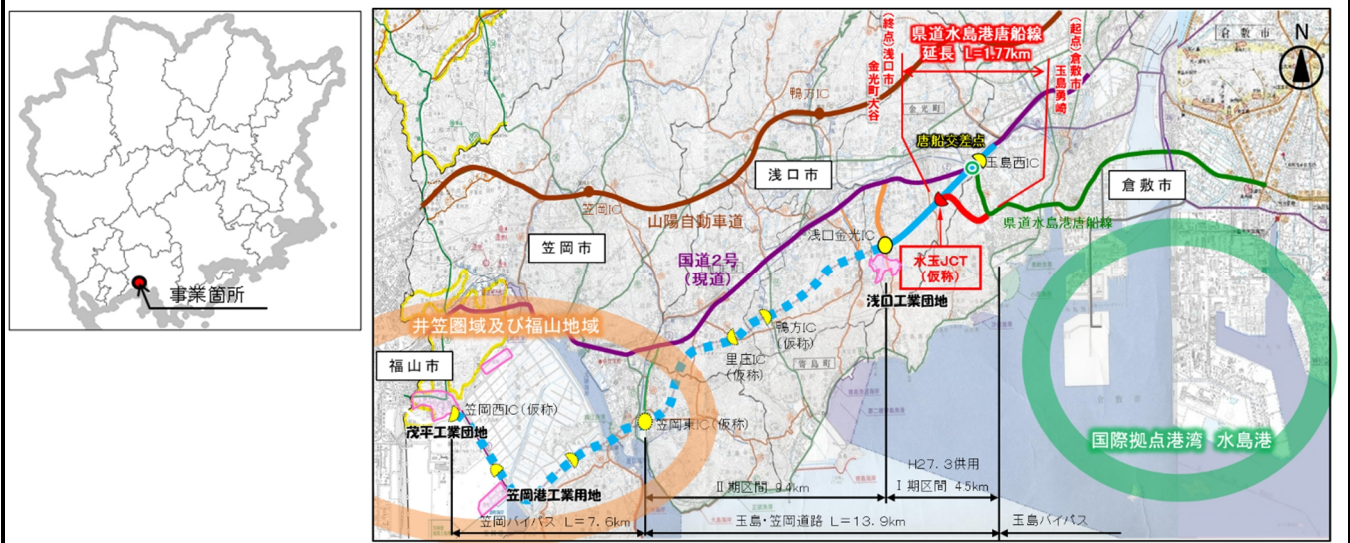
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等  
用地買収を推進し、早期工事着手を目指す。

施設の構造や工法の変更等  
建設発生土の有効利用や建設副産物の発生抑制等によりコスト縮減に努める。

対応方針

対応方針決定の理由  
当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考える。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。〔 〕内は社会的割引率の値)